

あぷろうち

~ approach ~



日本労働組合総連合会
群馬県連合会(連合群馬)

発行人 清村宗一
編集人 中川文蔵

〒379-2166

群馬県前橋市野中町361番地の2
(群馬県勤労福祉センター2F)

TEL.027-263-0555(代)

FAX.027-261-0549

Eメール rengo-gunma@mtg.biglobe.ne.jp

2002年9月号

No.126

“自分育て”ができる社会の創造を!!

去る8月31日(土)前橋問屋センターにおいて、構成組織ならびに地域協議会の代表者をはじめ、組合員、議員懇、高退連など170名の方々に参加いただき、「2002政策学習会」を開催しました。

はじめに、連合群馬を代表して田中副会長より、「連合群馬発足以来、政策要求に取り組んでいるが、組合員と県民を対象に意識調査を展開、広く県民の意見を反映した要求立案に努めて来た。近年では、重点項目の絞り込みを行い、着実に成果が得られるようになってきた。本日の学習会で皆さまから意見をいただき、ポイントを絞り込むと共に共通認識をはかりながら知事提言につなげたい。」とのあいさつを行いました。



阿部副事務局長の説明に熱心に聞き入る参加者

政策・制度要求と提言は、群馬県の新年度予算編成に向け、連合群馬組合員をはじめ県民の要望を集約する中で、群馬県として重点的に取り組むべき課題や方向性について提案するものです。

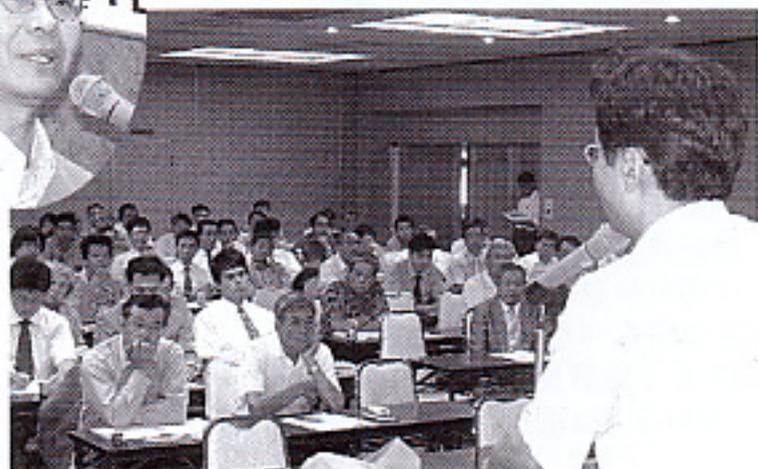
今年の「政策・制度要求と提言」は、12の地域協議会を通じて展開している「県民意識調査」の集計結果分析ならびに本部が示す地方における政策課題を基に、政策委員会・執行委員会で論議し、26項目に及ぶ2003年度「政策・制度要求と提言」(案)としてまとめました。

学習会の第1部では、「政策・制度要求と提言」(案)を説明し、参加者の皆さまに意見を求めると共に共通認識をはかり、要求実現に向けた取り組みを確認し合いました。

第2部では、広岡 守穂(ひろおか もりほ)中央大学法学部教授をお招きし、「男女平等参画に向け自ら取り組むこと」と題した講演会を開催しました。

講演の中で広岡教授は、「奥さんが自分育てをしようとしたとき、ご主人が支えなくて誰が支えるのか?こうした支え合いが広がれば、男女平等参画は推進される。企業や労働組合は従業員(組合員)の自分育てのために、行政・議員は地域住民の自分育てのために障壁を取り除く努力をすること、あらゆる場

面であらゆるひとが自分育てのできる社会を創ること、この事が21世紀に求められている。」と参加者に訴えかけました。



好評を博した広岡教授の講演